

オケラとトトキ（山で美味しいを体験する）

対象：（小学生以上）

人数：（5名～40名）

教科/分野：自然環境

授業時間数：（2時間）

場所：（南房総市^{あんぼや}安馬谷青年館及び安馬谷里山）

ESD プログラムへの想い	普段意識することがない身近な自然環境(里山)を知ることにより、人間が享受している里山からの恩恵と、人間が及ぼす里山への影響について考える機会にしたいと思えます。		
目標	学習者が安馬谷里山を含む安馬谷の食の恵みを知る。 学習者が環境保護の担い手になる。		
特徴	自然の中で生育する植物の観察力を身につけ、食用になる植物を見つけて食生活を豊かにする。		
持続可能な社会づくりの構成概念	多様性:里山の自然にふれ、生物の多様性について学ぶ。		
重視する能力・態度	<ul style="list-style-type: none"> ⑥つながりを尊重する態度:生物や植物に対する観察力、優しさを身につける。 ②未来像を予測して計画を立てる力:自然の中で安全に配慮できる心構えを身につける。 		
プログラムの流れ			
時間	ねらい	方法場所	内容
	使用する用具を準備する	各自	当日用意するもの 作業用の服装(長袖の白っぽいシャツ、長ズボン)白っぽい帽子、手袋、筆記用具、カメラ、できれば植物図鑑
20分	当日の諸注意	安馬谷青年館	<ul style="list-style-type: none"> ・初めの挨拶 ・スケジュール説明 ・諸注意 蜂と毛虫対策及びトイレ等
100分	自然観察力を身につける	安馬谷青年館(移動) 安馬谷里山(移動)	<ul style="list-style-type: none"> ・オケラとトトキ(ツリガネニンジン)を中心に、食べられる山菜の春・夏・秋の食べ頃な写真を入れた資料により説明(20分) ・1Km 徒歩 20分 ・クロモジの木について説明及び利用方法 ・安馬谷里山のハイキングを楽しみながら、自然観察力を身につける 安馬谷青年館まで1Km 20分 記念撮影、終了
SDGs との関連性	里山の自然の恵みに感謝できることにより、自然環境を守る(目標 15)		

学校・地域等との連携上の考慮	小学生、中学生、高校生や各種団体のそれぞれの知識や経験に合わせて、身近な里山に対する関心を持ってもらう体験を提供する
対象を発展させる可能性	春夏秋冬それぞれの里山の特徴を活かしたプログラムを提供することができる
その他補足事項	

プログラム作成者名（団体名）：横山 武 笹子全宏（安馬谷里山研究会）